

大空高原古墳群

大空高原古墳群（おおそらたかはらこふんぐん）は、20基以上の古墳があったと言われているが、高速道路の工事によって、発掘調査が行われ、現在は、数基が残っているだけである。

上野田1号墳



上野田の集会所の北側。近くには、上野田2号墳がある。現在は道路の下になっていて、天井石と思われるものが道路の表面に見られる。また、道路ののり面に、人頭大の石やもう少し大きな石が見られ、これらも石室材と思われる。

上野田 2 号墳

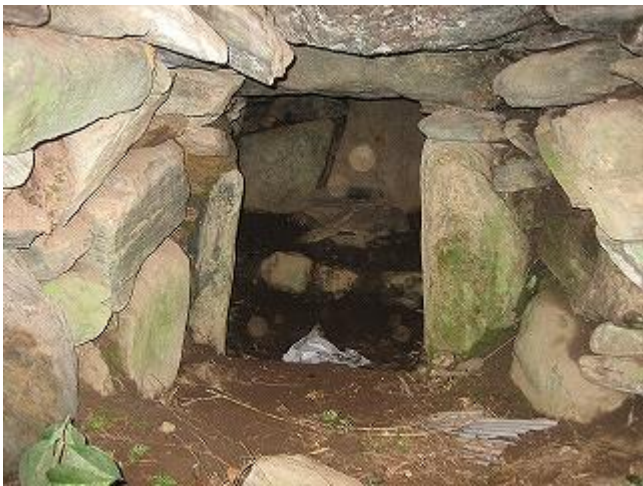


上野田 2 号墳は東西 8.7 m、南北 5.5 m ほどの小円墳で古墳時代後期のものである。墳丘上には古墳群の説明板が立っている。

石室入り口は狭いが、玄室はかなり広い。説明板には石室長 6 m あまりとある。玄門柱をもつ両袖式の横穴式石室で、あまり大きな石は多くは使われていない。玄門部には框石（かまちいし）があり、羨道より玄室は一段低くなっている。

奥壁の前は一段高くなっており、棺を置いた棺床（かんしょう）と見られる部分が残る。

大空5号墳



民家の裏にあり、墳丘の脇には「大空高原古墳群」の石碑が建っている。
大空高原5号墳は直径10mほどの円墳で、両袖式の横穴式石室をもつ。
石室の全長は6.2mで玄門部に框石があり、玄室が羨道より一段下がっている。

玄室の奥壁部には一段高くなった棺床がある。使用されている石材もあまり大きなものはない。